

# 戦国の世 女性活躍

## 徳川みらい学会黒田氏が解説

静岡 岡

事行動や政治は女性をめぐる家族間の関係で大きく変わる」などと述べた。  
(社会部・岩下勝哉)

徳川時代の歴史的意義などを研究、発信する「徳川みらい学会」は23日、本年度第3回「台大副学長の黒田基樹

さんが「戦国今川家の女性と北条家」と題して講演した。



戦国時代の女性について解説した黒田基樹さん。23日午後、静岡市葵区のしずきんホールユーフォニア

黒田さんは今川、武田、北条3家の姻戚関係の図を示しながら、戦国時代の大名家の女性たちの活躍を紹介した。今川義元の祖母の北川殿や、義元のきょうだいである瑞渓院について解説した。

1500年代の3家の三国同盟の経緯も解説。実家の人脈に関する摘出と庶出、実子と養子、正妻と妾(めかけ)の役割の違いなどを説明した上で、「軍